

平成 31 年電気学会全国大会 本部企画シンポジウム

課題名 2050 年に向けた電力システムと情報通信とデータ科学の協奏

場 所 北海道科学大学 E棟 401

日 時 平成 31 年 3 月 12 日 (火) 午後

提 案 国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)

概 要 科学技術振興機構 研究開発戦略センター (JST/CRDS) との共催企画となる。エネルギー基本計画ターゲットの 2030 年の先、2050 年頃までをイメージした、我が国の電力・エネルギーシステムが向かう方向感、電力システム技術と情報通信技術とデータ科学の協奏による未来を議論することを狙いとして、本シンポジウムを企画する。

	題 目	講演者氏名	勤務先名	所 属
1	JST CRDS ご挨拶	尾山 宏次	科学技術振興機構	研究開発戦略センター フェロー
2	シンポジウム主旨説明	林 泰弘	早稲田大学	理工学術院教授、スマート社会技術融合研究機構 機構長
3	電力システム・再エネインテグレーションの将来	荻本 和彦	東京大学	生産技術研究所 特任教授
4	分散エネルギー資源と電力システムの将来	石井 英雄	早稲田大学	研究院教授、スマート社会技術融合研究機構 事務局長
5	電力システムに貢献する通信システムの将来	丹 康雄	北陸先端科学技術大学院大学	学長補佐、先端科学技術研究科 教授
6	電力システムに貢献するアルゴリズムおよびデータ科学の将来	湊 真一	京都大学	京都大学大学院 情報学研究科 教授
7	エネルギー利用を合理化する需要科学の将来	山口 容平	大阪大学	大阪大学大学院 工学研究科 准教授
8	配電ネットワークシステムの将来	本橋 準	東京電力パワーグリッド株式会社	配電部長
9	電力システムソリューションの将来	野本 正明	日立製作所	技監、システム&サービスビジネス統括本部 C T O
10	パネルディスカッション	林 泰弘	早稲田大学	理工学術院教授、スマート社会技術融合研究機構 機構長